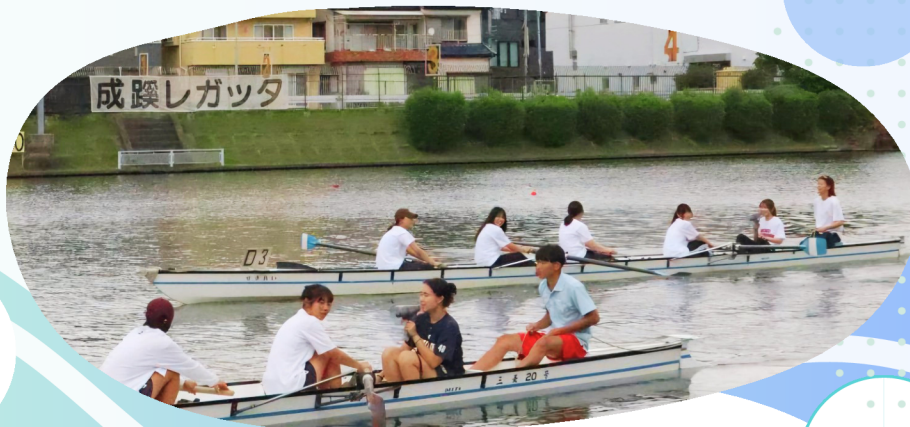


SEIKING

by 学生広報委員会 ZELKOVA

伝統をつないで、
真っ直ぐ前へ。
第56回 成蹊レガッタ



特集

「2026年度4月スタート!/
国際共創学部を取材!

「今日のお昼はどこに行く?/
キッチンカーが11号館前にも!

団体紹介: 馬術部
ゼミ紹介: 平野ゼミ



仲間と紡ぐ、
白熱のワンシーン。
第66回
学内運動競技大会

国際日本学専攻



国際共創学部生の印象

日本での学部指導経験がなく、始まる前はどのようなのか想像が付きませんでした。実際に授業をしてみて、講義後に「これはどうですか」「これも調べてみたんですけど、どうですか」と積極的に質問してくれる学生が多く、**とてもいい雰囲気**だと感じています! また、毎週の感想レポートでは講義で話したことに対して、しっかりと批判的な考えを書いてくれる学生もいます。学生たちには、このまま積極的に行動してほしいと思います!

メッセージ

学生には自分が**したいこと**を探して、**柔軟性**を持って行動してほしいです! **「やってみよう」**の精神が大事だと考えているので、知らない世界でも飛び込んでみるべきだと思います。私も、最初は将来ファッションの道に進むとは思っていませんでしたが、思い切って取り組んでみたことで今の着物の研究に繋がっています! 自分が本当にしたいことを見つけるためにも、色んな分野に取り組んで**新たな視点や考え**を育み、自分にしかない**魅力**を作って大切にしてください!

国際日本学専攻
トゥーレンサスキア 先生



プロフィール

出身はベルギーで専門分野は日本学とファッションです。成蹊大学には今年4月に着任しました。日本文化に興味を持ったのは、幼少期に両親の友人が経営する日本・中華料理屋さんによく訪れていた頃からです。お店の料理や内装に触れる中でアジア文化に関心を持つようになりました。様々な分野に興味があったのですが、大学院から専攻をファッションに変更しました。研究を通して着物に出会い、着物の歴史や、現代の着物職人と着物を着る人たちの研究を行っています。

今後の展望

今後は、和装文化を研究だけでなく実践の面からも広げていきたいと考えています! 私はデザイナーや職人の視点、ものづくりに携わる人の考えを理解するために、自分でも着物制作に取り組んでいます。また、以前行った海外で着物を着る人々の調査について、現在はどうなっているのかを改めて研究したいです。さらに、大学内で和装に親しむ機会をつくるプロジェクトも考えています! 学生が行っている衣服のリサイクルや草木染めにも関心があり、成蹊大学に多く植えられている櫟を活用した草木染めにも、いつか挑戦してみたいと思っています!

早速聞きました!

学生の声

国際共創学部で学び始めた新生にインタビューを行いました! 実際の学部生の目から見ると新しい学部はどんな風に見えているのでしょうか?

国際日本学専攻

Q. この専攻ならではの魅力はどこですか?
A. フィールドワークの授業があるところです。実際に新大久保や池袋に行き、実体験を通して学べます。



(H・Kさん)

Q. どのようなことを学んでいますか?
A. 日本の文化を世界の視点から見つめ直すということを学んでいます。



(T・Kさん)

Q. 学部の雰囲気を教えてください。
A. 多くの授業が比較的少人数なので、仲良くなりやすく、顔見知りの人が多いイメージです。先生も気さくで、話しかけたり質問したりしやすく、学部全体の居心地が良いです。

Q. これからやりたいことはありますか?
A. 社会学に興味があるので、それに関連してポップカルチャーを学びたいです! 国を超えた交流のきっかけとなっているものがどうやって作られていくのか気になります。

環境サステナビリティ学専攻



(Y・Tさん)

Q. この専攻ならではの魅力はどこですか?
A. 先生方から留学のお話をよく伺うなど、世界に視野を広げられる環境です。私は気象学の研究に興味があるのですが、海外の大学でもその分野を学べるチャンスがあることに、とても魅力を感じています。

Q. 西1号館の中でいちばんお気に入りの場所はどこですか?
A. 1階のラウンジです。2階のラウンジとは違い、飲食が禁止されていないため賑やかです。

Q. 一期生として入学してどうですか?
A. 未知な部分が多くありますが、それも含めて楽しいです。大学を卒業した何年後かに、国際共創学部の一期生で良かったと誇りに思える学部になると思います。

Q. 成蹊カリキュラムと学部独自の講義で違いを感じることは何ですか?
A. 成蹊カリキュラムは、1年生から4年生まで全学年が集まって行われるため最初は少し緊張しますが、その意味での学びが得られます。一方、学部独自の講義は1年生のみで行われるので、変にプレッシャーを感じることなく講義を受けられます。



(M・Sさん)

国際共創学部!!

環境サステナビリティ学専攻

国際共創学部生の印象

目の輝きが特に印象的でした! 私が大学一年生の時よりも輝いていて、**一期生の自負**やモチベーションを感じました。学生に四年間でどんなことに挑戦したいか尋ねると、**留学**を通して環境先進国のドイツで勉強したい、学内の**環境活動**に積極的に携わりたい、などという声がありました。**環境問題**に強く関心を示している学生が多く、大学一年生でそこまで考えていることに驚きました!

メッセージ

みなさんには、入学後にどんなことを勉強したいかイメージしてほしいです。国際共創学部では**文理や専攻に関係なく、幅広く講義**を受けられる土台があるので、自分の**好きなこと**を突き詰めて欲しいです。また、興味のあることを調べて、**オリジナルのデータ**を取って欲しいと思います。実際にデータをとって、結果を分析してみる。分析を基に原因を探り、一般化してみる。日常の**小さな興味を突き詰める**ことは、研究の疑似体験になると思います。どんなことでもよいので、興味のあることを徹底して勉強してみてください。

環境サステナビリティ学専攻
小室 謙 先生



専門分野・研究のキッカケ

私は「**地理**」の一分野に該当する「**観光地理学**」を専門に扱い、観光に特化した講義を展開する予定です。大学三年次にバックパッカーで世界一周の旅をし、各国を巡る中で日本の観光のポテンシャルに気づきました。そこで、**インバウンド・ツーリズム(訪日観光)**の利用に着目し、研究を進めました。

成蹊大学経済学部出身の強み

成蹊大学出身であるため、**学生と同じ目線で接し、向き合う**ことができると感じています。また、その中でも経済学部出身として、**理論と実証**を組み合わせることで研究や教育にアプローチできることも強みだと思います。

今後の展望

今後、開講予定のゼミナール系科目などでは、フィールドワークを軸に授業を展開していきたいと考えています。すでに一年生向けのフィールドワーク系の入門科目では、新大久保や池袋を訪れ、国際化するエスニック・タウンの現場の理解を深め、共生について考えてもらいました。フィールドワークは地域の方々からお話をうかがい、情報を引き出すことが求められますが、こうした経験を通じて、**勇気を出して自分の殻をやり、将来につながる所作を身につけてもらいたい**です。私自身も、学生のみなさんから刺激をいただき、研究成果をいち早く授業に取り入れるとともに、積極的に社会に発信、還元することを意識していきたいです。



※さらに詳しいインタビュー内容は『Seikei Realife』でも紹介しています。



キッチンカー特集

11号館前にキッチンカーが出店しています!

11号館前に2店舗、8号館東側に1店舗出店中!
(営業時間 11:30~14:00頃)
今回は金曜日「バインミー」、火曜日「ロコモコ」をご紹介します。



人気No.1
ハニーレモン
グラスチキン



Q. 利用者の印象はいかがですか?
A. バインミーを知っている人は少ないと考えていましたが、思っていた以上に知っている人が多かったです。毎週利用してくれる常連客もいます。

Q. 学生へメッセージ
A. マンスリーメニューの販売もあります。学生や教職員のお昼向けのメニューも開発していく予定なので、ぜひ来てほしいです!



人気No.1
ロコモコ デミチーズ



Q. 工夫点はありますか?
A. 学生支援のため、通常価格より1~2割ほど安く提供しています。安くても、食材にはこだわっています。

Q. 学生へメッセージ
A. 昔から盛り盛りでやっていて、普通サイズでも250グラムあるので、コスパがよいです!

団体紹介

成蹊大学体育会 馬術部



Equestrian



どんな部活ですか?

部員45名、馬8頭で活動しています。現在は体育館工事の関係で、成蹊馬場と埼玉にある日本乗馬倶楽部の二拠点になっています。馬に乗ることはもちろん、エサを作ったり馬房を掃除したりと日常的な馬の世界も行います。



特徴や魅力を教えてください!

成蹊の馬術部員は大学から馬術を始めた人がほとんどです。それまで馬に触れたことがない人やスポーツをしていなかった人も始めやすいのが特徴です! また、部活の楽しみ方も幅広く、のんびり乗馬を楽しみたい人、大会に出てガッツリ馬場馬術・障害馬術をやりたい人、どちらの期待にも応えることができます! また、樺祭・桜祭りでは乗馬体験やエサやり体験などを行っています。馬と触れ合ってみたい方、ぜひ遊びに来てください!!



ゼミ紹介

文学部日本文学科

ひらのゼミ



平野多恵教授

神仏・僧侶・和歌に関する古典文学とおみくじについて研究しています。5羽の小鳥たちと暮らす愛鳥家。好きな食べものは南インドカレー。

概要

平安末～室町時代の古典文学を研究し、ゼミの公式サイトで公開しています。これまでに『今昔物語集』の陰陽師説話、源頼光が鬼を退治する『呑香童子絵巻』などを扱ってきました。おみくじのルーツの一つである和歌占い(歌占)の普及にも取り組んでいます。「古典をおもしろく」をモットーに、古典文学の魅力を広く発信しています!



歌占とは?

結果を和歌で受け取る占いです。江戸時代には、いろいろな種類の歌占本が出版されていました。この占いは吉凶がないお告げの和歌が書かれたもので、解釈の余地がいくらかもあるところが魅力の一つです。柔軟な解釈で人を前向きにできる占いだと思っています! また、占いの結果だけでなく和歌が主体であるため、古典への興味の第一歩となる点も魅力です。樺祭のゼミ展示で歌占の一つである「せいめい歌占」を体験できます!



ゼミの魅力

「なんでもできるゼミ」であり、「成長できるゼミ」です! ひらのゼミでは、学生が手を挙げれば何にでも挑戦できる環境が整っていて、教授も全力でサポートしてくれます。学生の意欲次第で制限なく成長していける点が大きな魅力です! ガクチカが無いと心配な方! ひらのゼミではあなただけのガクチカができること間違いなしです!!



公式サイトは
こちらから!



Instagramも
check!



けーやんの日常

学生広報委員会の公式キャラクター「けーやん」の4コマを連載中!

【第三話】
夏休み



編集・発行

成蹊大学学生広報委員会・学長室総合企画課

09号の表紙について

レガッタ(学内競漕大会)

レガッタとは、1つのボートを複数人で漕いでスピードを競うボートレースのことです。成蹊レガッタは昭和44年に始まった歴史のある行事で、部活動・サークル・研究室などの各団体から選出された5名で競技を行います。

学内運動競技大会

学内運動競技大会とは、陸上部門、球技部門に分かれた、成蹊大学の学生であれば誰でも参加できるスポーツ大会です。今年度は7月上旬に第66回大会が開催されました。

\\新メンバー募集中//

【募集対象】

成蹊大学1・2年生(学部不問)
デザイナー・ライター・カメラマンをやってみたい人大歓迎!
未経験でも私たちが全力でサポートします。
記事の他にもSNSやブログの運営もしているので、興味のある方はぜひ!

【活動日】

毎週水曜日18:40~全体ミーティング
担当班ごとの制作に合わせて随時活動!

【応募方法】

①学部②学年③氏名④入会したい/興味のある活動
この4点を書いてこちらまでご連絡ください!

▶ X: @officialzelkova / Instagram: official_zelkova